2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	生活援助Ⅲ(食事•排泄)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	18 時間(単位)
対象学年	1学年	学期及び曜時限	前期	教室名	202、203、実習室
担当教員	鬼頭 浩美				

《科目目標》

- 1)人間の生理的欲求である排泄の意義を学び、尊厳ある援助について考えられる。
- 2) 排泄のメカニズムと健康な生活を送るための排泄援助が説明できる。
- 3) 自然排泄wお促すための援助および排泄困難への援助が模擬実践ができる。

《成績評価の方法と基準》

【評価方法】終講テスト60%・課題レポート40%

【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満

《使用教材(教科書)及び参考図書》

ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ メディカ出版

《授業外における学習方法》

1)講義までにナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ の4章・5章をよく読み、わからない言葉や理解困難な 内容を明確にしたうえで講義に臨む

2)事前に動画を視聴することで実践のイメージをつけて演習に臨む。

《履修に当たっての留意点》

- 1) 適切なコミュニケーション技術を用いながら対象の障害の程度を理解し、人間工学を用いた安全・安楽な実践を目指す。
- 2)対象に適切なコミュニケーション技術を用いながら尊厳をもって実践する。
- 3)より良い実践方法を探求する。

	業の 法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 1 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	排泄の意義及び排尿・排便の生理学的メカニズムが説明できる	ワークシート テキストP176~ 177	テキストを読んで説明で きるようにわからない言 葉は意味調べをしてお
		各コマに おける 授業予定	1)排泄の意義 2)尿・便の生成、排尿・排便のメカニズム	EX8巻 腎臓・泌 尿器の構造と機 能P16~18、132 ~133	く。排泄のメカニズムに 関して「消化・吸収と排 泄のしくみ」での学習内 容を復習しておく。
<i>**</i>	講	授業を 通じての 到達目標	排尿・排便のニーズのアセスメントの視点が理解できる	n. bs. l	
第 2 回	義形式	各コマに おける 授業予定	1)尿・便の性状 2)排泄行動と排泄行動を阻害する活動・運動場の要因 3)自然排尿・自然排便を阻害する要因	ワークシート テキストP178~ 183	
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	尿器・便器・おむつを用いた援助の実際が理解できる	教科書	尿器・便器・おむつ援助
· 3 回	演習形式	各コマに おける 授業予定) 尿器・便器・おむつの種類と適応 () 尿器・便器・おむつを用いた援助 () 自然排尿・排便への援助		について事前学習しておく
第 4	演習	授業を 通じての 到達目標	1. 事例の排尿・排便障害の種類を理解し、排泄の援助計画が立案できる	教科書	動画を視聴し、実施のイメージをしておく。 援助計画を立案し提出 する。
	形式	各コマに おける 授業予定	1.・排泄行為を阻害する活動、運動上の要因について ・自 然排尿を阻害する因子について ・自然排便を阻害する因子 について 2. GWと全体討議で援助計画を立案	ワークシート	
第	演羽	授業を 通じての 到達目標	1. より良い排泄の援助方法を見出すことができる	新 切 事	極明到兩の白加 校式1

5	百形式	各コマにおける授業予定	1)繰り返し模擬実践2)実践の動画を撮影 助計画の修正	3) 意見交換 4) 援		抜助計画の迫加・修正したものを提出する。
---	-----	-------------	--------------------------------	--------------	--	----------------------

授業の 方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	排泄の援助の模擬実践を行い、自己の今後の課題を明確にす る	教科書 ワークシート	実施した援助技術の内容を振り返り、計画の追加・修正を行う。 自己の課題について明確となったことをまとめ提出する
		各コマに おける 授業予定	1)模擬実践 2)動画の撮影 3)相互評価		
第 7 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	導尿・浣腸による排泄援助の方法が留意点が理解できる	教科書 ワークシート テキストP194~ 199	無菌操作の復習をして おく 尿道・膀胱・直腸・大腸 の解剖生理を復習して おく
		各コマに おける 授業予定	1)一時的導尿・持続導尿(尿留置カテーテルの管理) 2)浣腸(グリセリン浣腸・高圧浣腸)・摘便		
第 8	演習形式	授業を 通じての 到達目標	導尿・浣腸による排泄援助の実際が理解できる	教科書 ワークシート	
		各コマに おける 授業予定	1)一時的導尿 2)浣腸		
第 9 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	まとめ・終講試験	教科書 ワークシート	
		各コマに おける 授業予定	まとめ・終講試験		